

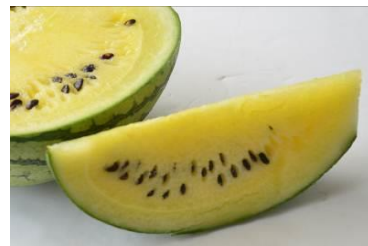
黄色くて甘い果肉の刈谷市特産品

小玉スイカ出荷スタート！

【6月13日（木）に刈谷市内で収穫風景を紹介します】

J Aあいち中央刈谷露地園芸部会のグループ「SKI」や産直センター刈谷北部産直運営協力会員らは6月上旬から、小玉スイカの出荷を始めます。

刈谷市北部地域では、全国的にも珍しい黄色の小玉スイカを30年ほど前から栽培しています。ユニークな色味に加え、切らなくても冷蔵庫へ入る・生ごみが少なくて済むなど、消費者のメリットが大きい商品です。



皮が薄くて甘いのが特長です！

小玉スイカは皮が薄くデリケートな品種で、常温では日持ちしないため、この地域を中心に、主に県内で販売します。

＜今年の生育状況＞

3月の定植以降、気温が低くツルの伸びに影響があったものの、その後は気温が上がり4月下旬からの授粉後の着果は良好です。昼夜の寒暖差もあり、甘みののった小玉スイカが出荷されることが期待されます。出荷は6月中下旬をピークに7月中旬まで続き、地元の市場や産直店舗へ。1玉2.5kg前後で、20,000玉の出荷を目指します。

＜刈谷市特産の小玉スイカ＞

■ “ちょうど良い” サイズ

切らずに丸ごと冷蔵庫に入れます。また、味が良いことはもちろん、皮が数ミリと薄く、生ごみが少なくすむのも人気の理由の一つです。

■ 全国的に珍しい黄色の小玉スイカ

■ スイカに適した刈谷北部地区の土壌

赤土を含む肥沃な土地で、甘みが強くなると言われています。

＜メディア対応日＞

■ 日 時：2024年6月13日（木）午前7時20分

■ 集合場所：J Aあいち中央産直センター刈谷北部（刈谷市東境町神田36-1）

※当日は、刈谷市内のスイカ圃場（車で約10分移動）で収穫風景を撮影いただけます。

※天候や作業状況等により、変更になる場合があります。



スイカの試食も行われます！

＜大人気！「すいかの朝市」＞

■ 日 時：2024年6月16日（日）／午前8時30分～

■ 開催場所：J Aあいち中央産直センター刈谷北部（刈谷市東境町神田36-1）

■ 販売数：約1,000玉（予定）

※数に限りがありますので、無くなり次第終了となります。

※採れたてのスイカを軽トラックに載せ、小玉スイカ「おとり2号」を中心に販売します。2011年より開始。

※例年、開店前から長い行列ができる人気ぶりです。当日は、整理券を配布します。

※7月7日（日）に、2回目の「すいかの朝市」（大玉中心）を開く予定です。

※天候や作業状況等により、変更になる場合があります。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

J Aあいち中央総合企画部企画課広報強化対策室（山村、杉浦、細井）

TEL：0566-73-5504／携帯：080-3667-3853／E-mail：kouhou@jaac.or.jp